

ふらっぴ通信

「働きたい改革」

渡邊 豊

今年の4月から施行された「働き方改革」によって残業が減られ、有給の年間取得数が義務で決まり休みの日が増えたー！と喜んでいいる一方、仕事量は減らず、残業もできない・・・この職場でも困惑しているのではと思います。社会が日々変化していく中で、働き方もその時代に合わせて変化していくのは当然ですが、少し窮屈な気持ちになりました。私が入職したとき(約13年前)を思い返してみました。花園大学を卒業しかしの木学園の支援員として社会人に仲間入りした私は仕事を1日でも早く覚えたい一心でがむしゃらに日々を過ごしていました。陶器を作る作業の担当だったのですが、早くいい製品を作りたい、こんな製品を作ったらもっと売れるんじゃないか?ーと試行錯誤していました。残つて夜遅くなっても苦痛に思わないし、その日1日やり切つて帰ることがすくなく楽しく充実していたように思います。当時の障害者福祉は支援費制度になった頃で制度も中身もまだまだ充実していない状況で、現場もバタバタして課題もたくさんありました。しかし、自分達で作っていきけるワクワク感、面白さがありました。どうしたらその問題をクリアできるのか、授産製品今は何て言うのかな?の価値をどうしたら高

社会福祉法人

なつな学園

サービスセンター

ふらっぴ



められるのかを日々考えるのが楽しかったからです。今の時代に「このようなことを話すと」「昔の苦労話」「頑張った自慢話」ぐらいにしか取られないでしょう。下手すると「若い時はそれぐらいするもんや」とパワハラになるかもしれないね。けれども、エネルギーに満ち溢れている年代で、「もっと働きたい」と思っている人はいるはずだと思います。それはただただ労力を消費するものでなく、「自分のやりがい」を高めたり「やりたいことを実現」するための仕事です。ある本(名前は忘れましたが)でもおもしろい内容がありました。年代で働くことの理由にすくく違いがあるという内容でした。70代の人は「食べるため」が1番。これは戦後に物もなく食べることにすくく苦労したからだとそうです。60代〜40代の人は「お金」で、高度成長期にたくさんのお金が生産され、お金で生活が激変したからだとそうです。30代〜20代は「存在価値」で、自分とは何か?を求める世代だとそうです。食へ物やお金にそこまで苦労せず物で溢れている世の中だからだとそうです。30代〜20代は「存在価値」で、自分とは何か?を求める世代だとそうです。食へ物やお金にそこまで苦労せず物で溢れている

世の中だからだとそうです。

働きた改革の話に戻しますと、国は働く時間や日数の管理だけで、中身のことは考えていないですね。働く時間が減ることだけを時代は求めているのではないと思います。やりがいやたのしさや充実感、ワクワク感、そこで働いている存在感だということ

です。福祉業界は人手不足と聞きますが、そもそもどの業界も人手不足です。休みを多くしたり、給与を高くしたり、資格手当を付けたりにしていますがどこも苦労しています。飲食業界では牛丼チェーンの時給が一番高く、カフェが一番安いそうです。しかしカフェに働きたい人はすくく多いです。それはお金以外の魅力(おしゃれ、かっこいい、空間作り)があるからだとそうです。福祉業界でも必要なのは、給与を上げるのは当然必要なことですが、それ以外の魅力を伝える、利用者の魅力を伝える、そもそも福祉に関わっている我々が楽しんでイキイキしていることが1番なのではないでしょうか。そうすれば働きたい人も集まり、働いている人もよりイキイキでき、利用者もイキイキできる。そんな職場を今の時代は求めているのだと思います。

「働き方改革」をきっかけに入職当時のワクワクした気持ちを思い出しました。安倍首相に少し感謝したいと思います。

職員からの挨拶コーナー

皆さんこんにちは。今年の4月よりサービ
スセンターふらっぷを異動することになりま
した。本当に多くの方へ色々な場所にご一緒
することができて本当に幸せでした。

ところで「ふらっぷ」で印象に残っている
支援はある。「異動の公示があったから、こ
ういう質問をよく受けました。印象的なこと
が一つ。学生時代にボランティアで障書のあ
る児童さんとのキャンプに手伝いで参加しま
した。その時に参加されていたS(仮名)さん
と数年後にたまたま、ふらっぷの支援で
お会いしたんです。そのSさんから開口一番
「リバーやな」と言われたのですが、私の方
でSさんのことを覚えておらず、後で「リバ
ーってキャンプチームかーあのキャンプの時
にいたんや!」と驚いたことがありました。
この再会には衝撃を受けましたが、もしかし
たらまた皆さんともどこかでお会いすること
があるかも!と期待しています。またどこか
で見かけたら是非声を掛けてくださいね。
最後になりましたが6年間 本当に
ありがとうございました。

まつただけんじ
松田健次さん

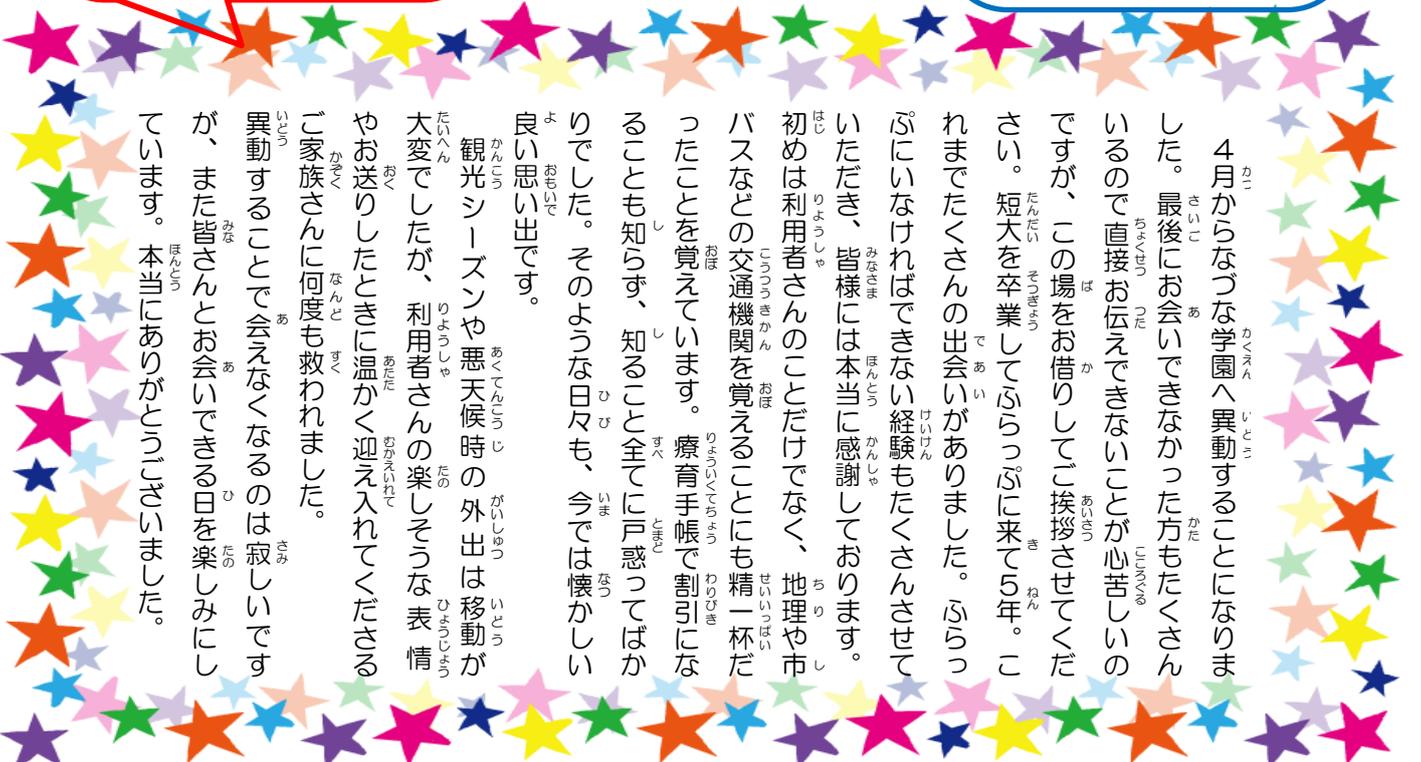


ながはた ゆ き
長畑有紀さん



4月からなつな学園へ異動することになりま
した。最後にお会いできなかった方もたくさん
いるので直接お伝えできないことが心苦しいの
ですが、この場をお借りして挨拶させていただきます。
短大を卒業してふらっぷに来て5年。こ
れまでたくさんのお会いがありました。ふらっ
ぷにいなければできない経験もたくさんさせて
いただき、皆様には本当に感謝しております。
初めは利用者さんのことだけでなく、地理や市
バスなどの交通機関を覚えることにも精一杯だ
ったことを覚えていきます。療育手帳で割引にな
ることも知らず、知ること全てに戸惑ってばか
りでした。そのような日々も、今では懐かしい
良い思い出です。

観光シーズンや悪天候時の外出は移動が大変でしたが、利用者さんの楽しそうな表情やお送りしたときに温かく迎え入れてくださるご家族さんに何度も救われました。異動することで会えなくなるのは寂しいですが、また皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。本当にありがとうございました。



今年度よりなつな学園から異動して参りました久野杏佳ひさのきょうかさんと申します。すでにご存じの方もいらっしゃるかとと思いますが、初めましての方、そうでない方もどうぞよろしくお願ひします。なつな学園では、製菓班、喫茶班、紙工班と様々な作業班で利用者さんと一緒にお仕事達成感ややりがいのある貴重な時間過ごさせていただきました。振り返ると四年という長い時間を過ごしてまいりましたが、私の感覚ではとても短かへあつたという間に感じました。これから皆さんの「日々」という大切な時間を一緒に過ごすことを大変うれしく思います。京都の地理は不慣れで、まだまだわからない場所も多くありますが、勉強していろいろな場所を知っていき、皆さんのお出かけを楽しみにしています。今後ともよろしくお願ひいたします。

ひさのきょうか
久野杏佳さん



ふじおかこうすけ
藤岡 鴻佑さん

初めまして！今年の4月かららららっぴの職員になりました藤岡です。よろしくお願ひします。5年ほどかしの木学園で働かせていただきました。この度異動となりました。自分の感覚としてはまだまだひよこの新米だと思っていたのですが気づけばもう5年も経過してしまいました。後輩もどんどん入ってくるし、新しい仕事もやってくるので日ごろから変化はあったのですがいまいち時間の流れというものに敏感になれず、気が付けばもうこんなに時間が過ぎていました。ふらっぴで働きたてからはいろいろな方とあっちへ行ったり、こっちへ行ったり、それともそっちへ？といういろんなところへ行きましたし、時には料理や掃除などをして「洗濯物たみましようか？」なんて話をしたりしました。そうして皆さんの利用者さんとお会いし、たくさんのお話もして、今もお仕事をさせていただいています。最初はうまく仕事ができるのかとても心配でした。僕にできるだろうか？周りの人に迷惑にならないだろうか？ドキドキしながらずっと考えていました。ですが職場の方たちは暖かく迎えてくれて、仕事に慣れない自分を気にかけてくださってとても安心しました。まだまだ足りないところのある自分ですが少しずつでも役に立っていきけるよう成長していきたいと思ひます。これからもうっかよろしくお願ひします。



夏のおすすめスポット☆

奈良「燈花会」



8月に開催される奈良のイベントです。3000人の灯りが、奈良の都を彩ります。一般の方もロウソクに火を灯し、並べる事が出来ますよ！中にはハートの形のロウソクもあるみたいです。是非探してみてください。●

その他、ロウソクの灯りに囲まれて行われる楽器の演奏や、ライブもあり、何とも癒される空間です。今年は、8月5日～8月14日の9日間で開催されており、時間は19時～21時45分です。オススメです♪

アクセス
 近鉄「奈良駅」から徒歩15分
 奈良交通バス「大仏殿春日大社前」から徒歩5分



編集後記

皆様こんにちは。アジサイがきれいに色づき始める季節となりました。新しい雨具を持って出かけするの！という利用者さんの声、雨が続き洗濯物が乾かないのよ！という親御さんの声も聞こえてきそうな気がします。いつも掃除に洗濯に料理に買い物の悲鳴をあげておられる方もホッと一息、このふらっふら通信を見ていただくと嬉しい気持ちです。

今年、4月にふらっふらも新年度を迎えました。多くの利用者さんとそのご家族に支えられているのだとつくづく思います。

新メンバーになり新しい風が事務所に吹いています。これからもより良い支援に一歩でも近づけるよう歩んで行くこととお思います。これからもどうぞ宜しくお願い致します。(O)

